

## 目玉模様のあるクサガメ

小賀野大一

290-0151 千葉県市原市瀬又962-40 千葉県野生生物研究会

Eyespot pattern of Chinese three-keeled pond turtle *Mauremys reevesii*

By Daiichi OGANO

*Chiba Wildlife Research Society, 962-40 Semata, Ichihara-shi, Chiba 290-0151, Japan.*

目玉模様はジャノメチョウなどの昆虫やチョウチョウウオなどの魚に見られる同心円状の模様で敵はそれを眼として認識するらしく間違っ攻撃することがあるといひます。したがって、目玉模様には、敵の注意をそらして大事な眼を守るという効果があるらしいです。

一方、クサガメの頭部の色彩は暗褐色や濃灰褐色、褐色、黒で、黄色や薄黄緑色の不規則な線や斑紋が入ります。この頭部の模様は変異に富んでいて、模様の薄れる老齡な個体を除けば個体識別にも使用できそうですが(図1)、この線がつながり円形になることはあまりありません。



図1. 変異のあるクサガメの頭部の模様

2019年6月2日に鎌倉の鶴岡八幡宮を訪れた際に、境内の池においてリング状の斑紋をもつクサガメを確認したので報告します。この池では、これまでにミシシippアカミガメ、クサガメ、スッポンが確認されていて、アカミガメに次いでクサガメが多く見られます。夏場の池ではハスがかかなり繁茂しますが、一部刈り取りが行われて露出した水面では、大きなコイに混じって観光客からの餌を求めて近寄ってくるカメ

達が観察できます。今回、寄ってくるカメ達の中に、遠目で見ると目と目の間隔が離れた間抜け(面白い)顔をしたカメがいたので(図2)、しばらく様子を観察していると目の近くにリング状の模様をもつ甲長10cmほどの雄のクサガメであることがわかりました(図3)。頭部にリング模様を持つクサガメを見るのは今回が初めてのことでないのですが、これまで見た例と比較して本来の眼に近い位置にあったため、目玉のように見えたものと思われます。ただ、現時点ではこの目玉模様が何かに役立つとは思いきいですが、敵の注意をそらして大事な眼を守ることで生存率を高める効果があるようなら、今後目玉模様を持つクサガメが増えていくのかもしれません。

公園の池や都市近郊の河川などではクサガメを見かける機会が多いと思うので、その際の楽しみの1つとして頭部の模様に着目してみるのはいかがでしょうか。



図2. 近寄ってきた目玉模様を持つクサガメ



図3. 目の近くにリング状の模様をもつクサガメ  
(図2と同一個体)